

2022年度

# 事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

# 目 次

事業の概要	( 1 )
Ⅰ. 公益事業	( 1 )
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール)…	( 1 )
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館)	( 3 )
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館)	( 4 )
4. 共通公益事業 (総務課)	( 5 )
Ⅱ. 収益事業等	( 6 )
1. 付帯サービス事業	( 6 )
2. その他の事業	( 6 )
Ⅲ. 管理 (法人管理事業)	( 7 )
1. 役員及び役員会等に関する事業	( 7 )
事業の内訳	( 8 )
1. 自主・共催事業	( 8 )
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	( 8 )
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	( 1 2 )
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	( 1 6 )
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	( 2 0 )
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	( 2 0 )
(6) 総合評価	( 2 2 )
2. 指定管理事業	( 2 4 )
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	( 2 4 )
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	( 2 6 )
(3) 市民総合体育館の利用状況	( 2 8 )
(4) 有料公園施設等の利用状況	( 3 0 )
3. 管 理	( 3 2 )
(1) 役員及び役員会等に関する事業	( 3 2 )

## 事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っています。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 芸術小ホールの事業では、乳幼児と保護者、高齢者や様々な事情を抱えた人々との接点をできる限り創出するため、「参加型」事業を意識的に実施します。具体的には鑑賞・講座・ワークショップ・アウトリーチなど、参加方法の多様化と機会をできる限り増やすことを心掛けます。そのために地域の学校、芸術団体、アーティストらとの協力関係を構築していきます。そうした実績を積み上げつつ、市民参画であるからこそ成立する舞台作品を市民が主体となってつくるなど、芸術の真髄である「創作」にも市民の力と存在を活かします。

コロナ禍を克服し徐々に次なる時代へと移行する中、出演者はじめ外部芸術関係者を支える視点からも共催形式や助成金等を活用しつつ積極的に事業展開する姿勢を貫きます。さらに市民の自立した活動である貸館事業が十分に共存できるよう自主事業との施設利用日のバランスを常に考慮し、また自主事業参加者が貸館で活動を継続する機運づくりに努力します。

- 郷土文化館では、谷保天満宮、本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産は、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つです。これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用は郷土文化館を中心に行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。また、地域に貢献する郷土文化館を目指すため、専門職員としての学芸員の専門性を活かし、くにたちの歴史、文化、環境等を啓蒙、啓発するための企画展示、資料収集、講座事業等を行います。また、参加型の事業を充実させ、利用者の調査、研究等に対応できるよう生涯学習活動の支援を行います。

このような視点を持ちながら、2022年度は以下のような事業を展開しましたが、コロナ感染拡大防止のため参加者の縮小や参加者は募集せず指導者の技術確認の形で実施しました。

- 市民総合体育館では、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」の目標の達成のため、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう、1. 小中学生のスポーツの体験事業の充実、2. 健康づくりのスポーツ事業の充実、3. 高齢者を対象とした事業の充実、4. しょうがいしゃスポーツの推進、5. 関係機関との連携の5つの運営概略を示し事業を展開していきます。このような視点を持ちながら、2021年度は以下のような事業を展開しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業及び貸館事業が多大な影響を受けました。

## I. 公益事業

### 1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)(くにたち市民芸術小ホール)

○館内利用者数 48,823人(目標数68,000人)

#### ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業7事業、芸術振興事業16事業、その他7事業の、計30

事業を実施しました。依然コロナ禍にあり実施中止とした事業があった反面、計画外実施した事業もありました。主催共催別では主催17事業、共催13事業を実施しました。

#### (ア) 芸術環境創造事業

教育や福祉の見地を含め、地域の芸術的人材・団体の協力を得て事業を行いました。

##### ① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

多摩地域の文化拠点をつないでいる芸術団体・たちかわ創造舎による全世代向け演劇公演は8年目となりました。コロナ禍を経て、客席設定や公演後の俳優との交流方法などに変更を余儀なくされましたが、年2回公演のうち1月公演ではコロナ対応交付金によりチケット代金を無料とし、全世代で楽しめる事業として継続定着させることができました。

##### ② 学校教育との連携事業

国立音楽大学協力事業の「くにたちデビューコンサート」は、同学在学生、卒業生の希望を取り入れながら興行として成立しにくい企画に挑戦し、公共ホールの存在意義を活かした公演となりました。同事業についてもコロナ対応交付金を活用しました。また3年目となる（一財）地域創造の音楽活性化支援事業ではギタリストによるコンサートと市内小学校および城山さとのいえで計5回のアクティビティを実施し、子どもたちや地域の人々とクラシック音楽の接点を創出しました。

##### ③ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では「ガムラン講座」「ベリーダンス講座」を開催し、講師・参加者双方が学びあい交流する場をつくりました。それぞれ無料のイブニングコンサート時に発表を行いました。

#### (イ) 芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみより深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

##### ① 芸術文化の創造事業

芸術の真髄である「創造」を行える施設をめざし、出演アーティストやクリエイターと協働しながら事業を展開しました。国立市出身の世界的著名作家書下ろし台本で市民参加により世界初演を行った創作オペラ、民謡歌手を迎えた鼓童公演、若手演奏家育成を図るinc.プロジェクト等を実施しました。また芸小創作舞台作品が文化庁事業に採択され、いわば外部販売という新たな境地を拓くことができました。

##### ② 芸術文化の継承事業

「フレッシュ名曲コンサート（室内楽）」は東京都歴史文化財団（東京文化会館）との共催で、東京音楽コンクール、日本音楽コンクール第1位受賞のクラリネット奏者と弦楽奏者による五重奏リサイタルが好評を得ました。また11回目となった「こども寄席」は毎年好評の小学生コースのほか要望を受け中高生コースを新設しました。くにたち市民オーケストラ「ニューイヤーコンサート」は地域の人々からの安定した人気を得て実施されました。

##### ③ 芸術文化の交流・支援事業

定番「スタジオコンサート」は著名な演奏家が出演する回が増え、チケット代も増額しましたがいずれも完売となりました。「すたじお寄席」は、レギュラーメンバーの昇進を見守る楽しみを兼ね備えた、地域に根付いた落語会となっています。

##### ④ 創客、利用拡大事業

「ランチタイムコンサート&ステージ」「イブニングコンサート」は整理券制で客席数を制限しつつ開催し、出演者への演奏機会の提供と市民が様々な音楽・ステージを気軽に楽しめる機会を提供しました。

「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」は毎回受付開始日からまもなく予約が埋

まる人気事業となりましたが、ピアノの老朽化を鑑み実施頻度を下げました。

#### (ウ) その他

##### ① 自主事業、連携事業企画調査事業

広報の効果を上げ活性化を行うためSNS(ツイッター)、メールマガジン等の活用を図りました。また動画投稿サイトを活用し、事業プロモーションに努めました。

##### ② 実行委員会参画事業

定番の「くにたち音楽祭」「吹奏楽フェスティバル」、「ファミリーフェスティバル」、「わくわく子どもフェスタ」はコロナ対策について各実行委員会が実施方法等について真摯な検討を行い、自主的な活動としての本分が果たされました。

#### イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

2022年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で15.0%増の1,504件、利用料収入額は10.9%増の17,583,350円となりました。利用件数増の主な原因は、コロナ禍が緩やかに収まる中徐々に活動が復活してきたことが考えられます。

竣工後35年を経て施設の老朽化に伴う修繕費は2022年度も増加傾向にありました。安全な施設運営のため入れ替えが必須となる設備・機材が複数あり、喫緊の対応が求められています。

## 2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(定款第4条第2号)(くにたち郷土文化館)

○館内利用者数 21,602人(目標数25,000人)

郷土文化館では、自主事業36、共催事業3の合計39事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業3、企画展示事業3、資料収集・調査・研究事業7、講座事業11、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業12、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

### ア. 郷土文化館事業

(ア)郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

#### ①展示事業

紙を素材にして様々な創作品を紹介し、市内で活動するサークルと共催で、会期中に紙の特性や魅力を学びながら、子どもから大人まで楽しめる体験事業を実施した企画展「第24回紙の工芸展」、高度成長期、町の暮らしが大きく変化していく中で行われた、民具収集と聞き取り調査。市民の力で行われたそれらの業績を明らかにすると共に、採集された民具と聞き取りから分かる、かつての谷保の人々の暮らしぶりを振り返る企画展「歩いて集めて見て聞いて」、公立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した企画展「むかしの暮らし展」の計3回の展示事業を実施してコロナ禍にもかかわらず延べ約9,000人を超える観覧者がありました。

#### ②講座事業

コロナ感染防止のため、旧本田家、古文書関連、自然講座「くにたちの地形と野みずの発生」等講座事業につきましては、参加者を縮小して実施しました。秋季企画展「歩いて集めて見て聞いて」に関連しミュージアムトーク、まち歩きイベントを実施しました。

#### (イ)市民が参加及び体験する事業

### ①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公私立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2022年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校行い、716人の児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしの暮らし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。また、コロナ禍ということもあり、わらぼうり作りについては、市民参加を見合わせ、伝承者の技術を確認しました。十五夜だんご作り、ひし餅作りについては、参加者を縮小して実施しました。

### ②郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

## イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2022年度の郷土文化館の入館者数は21,602人で2021年度と比較して4,382人、25.4%の増となりました。また、2022年度の古民家の見学者数は10,026人で2021年度と比較して1,036人、9.4%の減となりました。郷土文化館の増は、全国にコレクターのいるマンホールカードの配布が2023年1月から開始されたことが大きく寄与しています。古民家の減は、2022年度最後に来て桜ウォーキングのような集客力のあるイベントが悪天候のため中止等になったことで集客数が伸び悩んだものと思われる。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2022年度は1,160,300円で2021年度と比べ111,100円、10.6%の増となっております。なお、市主催事業の減免措置については、21.1%の減となっております。事業収入等の状況は、2022年度は685,330円で、2021年度と比べ86,110円、11.2%の減となっております。

## ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2021年度に実施された市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務及び2022年度中に実施される緊急発掘調査に必要な知見を得るための発掘調査補助を受託し、実施しました。

## 3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

### (くにたち市民総合体育館)

○館内利用者数 141,645人（目標数210,000人）

## ア. スポーツ及びレクリエーション事業(定款第4条第3号)

総合体育館では、自主事業が19事業59回、共催事業が5事業6回、他組織への協力事業が1事業1回で合計25事業66回を企画しました。しかし、新型コロナウイルス等の影響で自主事業が4事業4回、共催事業が1事業1回、協力事業が1事業1回、合計で6事業6回を中止にしました。

2022年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けることになりました。

このような中、自主事業の小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで夏休みに実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多かったことから、現在は財団主催で会場を総合体育館に変え水泳教室を実施しております。毎年定員を超える申込があり、大変好評でした。

共催事業では、くにたちファミリーフェスティバルは総合体育館体育室が新型コロナワクチン接種会場となったため中止になりました。

小学生初心者水泳教室では、泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しておりますが、毎年定員を超える申込があり、今年も大変好評でした。

くにたちウォーキングは、2022年度は10月10日の体育の日に開催し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上に寄与しました。

スポーツ講演会は、2023年1月14日に4年ぶりに開催しました。メンタルトレーナーの高畑好秀氏をお迎えし、試合や受験に120%発揮する方法や子供の隠れた可能性の引き出し方・伸ばし方などスポーツと教育の両面から実践的にお話をいただき大変好評でした。

#### イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

総合体育館利用者数(南市民プラザトレーニング室を含む)は個人が83,812人(15,064人、21.9%の増)、団体が56,484人(12,838人、29.4%の増)でした。

2022年度も新型コロナウイルス対策を行いながら運営を行いました。4月1日から4月26日まで及び7月11日から8月31日までは第一体育室、9月1日から10月31日までは第一・第二会議室、企画資料室、ベビールーム、11月1日から12月31日までは第二体育室全面、1月1日から3月31日までは第二体育室半面が新型コロナワクチン接種会場となったため、それぞれ利用を中止しました。2022年度も新型コロナウイルスの影響を受けることになりました。

また、新型コロナワクチン接種会場となっていた期間の体育室が利用できない期間は、国立市民のスポーツ・レクリエーション活動の代替場所として、また、利用者の健康増進・体力向上のため、NHK学園の体育館を2022年度は30団体がお借りしました。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は31,248,035円で、2021年度と比べて1,406,564円、4.7%の増収でした。2022年度は緊急事態宣言がなく、利用者数及び利用料収入が増加したものです。(2021年度緊急事態宣言、4月25日～6月20日、体育館休館、4月27日～5月31日)

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、27,051時間、利用率は70.77%、3箇所の野球場は、7,031時間、利用率は54.0%、サッカー場は、1,730時間、利用率は、47.5%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、18,781,950円で、2021年度と比較して2,294,875円、10.9%の減収でした。減収の理由は、利用者数の減少によるものです。

#### ウ. 学校開放受付業務受託事業(定款第4条第5号)

国立市立小・中学校(11校)の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。

#### エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業(定款第4条第5号)

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延434人となり、2021年度と比べて108人、33.1%の増になりました。

### 4. 共通公益事業(総務課)

#### ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開している「塞ノ神どんど焼き」など7事業に助成しました。

・助成団体 7団体                      ・助成金額 1,150,000円

## イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。

## ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

## II. 収益事業等

### 1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

#### ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託し受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売する事業ですが、2022年度は受託5件でした。

・2022年度の受託団体数 5団体（5件） 受託販売手数料 18,180円

#### イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2022年度の販売額 298,477円 販売数7,425本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2022年度の販売額 68,868円 ・販売数 1,567本

#### ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・2022年度の販売額 434,200円 ・2022年度末棚卸額 1,043,344円

#### エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグルのスポーツ用品を販売しました。

・2022年度の販売額 263,500円 ・2022年度末棚卸額 105,216円

### 2. その他の事業

#### ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として学校等の卒業式等および成人式等への貸付を行いました。

## III. 管理（法人管理事業）

## 1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 3回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2022年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

## 事業の内訳

### 1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

[市民芸術小ホール] (決算額 45,695,148 円)

#### (ア) 芸術環境創造事業

##### ①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
○ 1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業 にじゅうまるシアター (①「泣いた赤鬼」1公演 ②「長靴をはいたネコ」2公演)	自主	①6月26日 ②1月29日
● 2	旧駅舎コンサート&パフォーマンス	自主	中止
○ 3	放課後ダイバーシティダンス	自主	通年
4	(仮称)くにたちアートプロジェクト事業	共催	通年
5	(計画外実施) ①誰もが楽しめるジャズコンサート ②誰もが楽しめるクリスマスコンサート	共催	①12月1日 ②12月16日

##### ②学校教育との連携事業

6	くにたちデビューコンサートvol.15 ①「ゲーテ 『ヴィルヘルム・マイスター』の詩情」 ②「戦争と音楽編 戦火に散った歌曲たち」	自主	①1月21日 ②3月18日
● 7	公共ホール音楽活性化支援事業 「松尾俊介クラシックギターコンサート」 (コンサート1回、アウトリーチ4回)	共催	公演7月9日 (アウトリーチ7月1~3日)

##### ③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

8	市民一芸塾①「夏休みバリ・ガムラン講座」 ②「踊って楽しいベリーダンス講座」	自主	①8/16-20 ②11/21・28・ 12/5・12・19
● 9	くにたちビエンナーレ2015受賞作家個展 長野真紀子個展	自主	中止

#### (イ) 芸術振興事業

##### ①芸術文化の創造事業

● 10	①スティーブ・ライヒプロジェクト レクチャー・ ショーイング・ワークショップ ②inc. percussion days 2023 KUNITACHI	自主	①11/19-20 ②2/10-12
○ 11	伊藤多喜雄×鼓童 (2回公演)	共催	10月15日
● 12	芸小ステージクリエイションⅣ 朗読とおはなし『エンデの遺言』を読む	自主	11月12日
13	多和田葉子 複数の私vol.05+ステージクリエイションシリーズⅢ ①くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』②上映会	自主	①4/30, 5/2・3 ②11/14・15
● 14	①文化庁巡回公演事業「小さな劇場 太陽のタネ」 ②再演+ワークショップ	共催	①8/31, 9/1, 12/12・ 16・19・21 ②8月29日
15	芸小シネマ ※実施せず	主催	—

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパートリーを上演しました。客席数は①50% ②最前列のみ未使用としました。また②は国立市を通じ「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金」を活用しました。	①大人1,000 こども500 ②0	①62 ②210
「まちの魅力発信拠点」である旧駅舎との連携でまちづくりへの参画を図るとともに芸小事業の事前PRに活用する予定でしたが、コロナ禍で必要となる客席数限定が同所の運営と相容れないため、中止としました。	0	—
2019～2021年度アーツカウンシル東京共催事業として実施した同事業を継続したいとしてその実施方法について検討しました。2023年度にワークショップ実施と、可能であれば舞台発表を目指すこととしました。	—	—
新たにアーツカウンシル東京と連携し、「国立市文化芸術推進計画」の基本理念に沿って市内外の様々な主体が連携、協働し、芸術文化を通じた人々の活動や交流を促進するNPOによる拠点づくりを進めました。	—	—
教育委員・大野氏発案・企画によるジャズライブ。だれもが気軽に音楽を楽しめる機会を創出することを目的に実施しました。国立市教育委員会共催。公演客席数は最前列のみ未使用。	500	①56 ②55

国立音楽大学協力で、次代を担う若手音楽家に発表とオリジナル企画実践の機会を与える育成支援事業を行いました。②は国立市を通じ「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金」を活用しました。	1,000	①117 ②71
地域ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりをめざし、音楽家による地域でのアウトリーチを5回(一小4年生2クラス、六小4年生2クラス。城山さとのいえ)、ホールでの演奏会を行いました。(一財)地域創造共催。	一般1,500 中学生以下500	アウトリーチ165 公演182

地域の専門家による、市民向けの造形や実演の文化芸術講座。今年度は夏休みにガムランを小学生向け、中高校生+大人向けに、また冬にはベリーダンスと国際色ある講座を実施しました。	2,000	①7 ②10
くにたちアートビエンナーレ2015野外彫刻展大賞受賞作家による個展を開催予定でしたが、コロナ禍の影響で作家の希望により延期としました。	0	—

世界的打楽器奏者・加藤訓子氏主宰の若手演奏家育成事業。演奏会(有料・無料)やワークショップなど複数のイベントを実施。②は国立市を通じ「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金」を活用しました。	0	①138 ②628
毎年恒例となった和太鼓アンサンブルのリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演。今年は民謡歌手の伊藤多喜雄氏とのコラボ。令和4年度文化庁芸術祭参加作品。	一般5,000 小～高校生2,500	①181 ②154
アーティストとアイデアを出し合いながら、地域の文化施設がつくる舞台作品を育てるシリーズ。今回は昨今再度注目を集めている児童文学『モモ』作者のミヒャエル・エンデに関わる著作から台本を起し俳優によるリーディングを上演。ゲスト(建築家・映画評論家・ドラアグクイーン)を招いたクロストークも実施しました。	一般2,000 学生1,000	21
国立市出身の世界的小説家・多和田葉子書下ろし台本による新作オペラ3公演の世界初演。市民出演者・スタッフ45名を含む総勢80名余りが創作に関わりました。また公演記録映像を発表しました。	①一般4,000 学生2,000 ②500円	①619 ②71
文化庁事業である「巡回公演」に採択され、岐阜県、茨城県、神奈川県、静岡県、東京都離島の6校を訪問しワークショップと公演を実施しました。また出発前に芸小ホールで再演と影絵制作ワークショップを行いました。	—	528
2020年度制作の映画版「太陽のタネ」を現在複数の映画コンクールに出品しており、受賞決定の際に上映会実施を予定していましたが、現時点で入賞が決定していないため実施しませんでした。	—	—

(イ) 芸術振興事業

②芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
16	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「晩夏のクラリネット五重奏」	共催	9月11日
☆ 17	ホール寄席「桃月庵白酒・三遊亭兼好 二人会」	自主	12月10日
○ 18	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 初級者編	自主	7月25日
○ 19	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 上級者編	自主	7月26日
● 20	くにたち市民オーケストラ「2023年ニューイヤーコンサート」	共催	1月15日
21	（計画外実施） ササフェス！～作曲家ジョン・ササスの作品に贈る～	共催	10月9日

③芸術文化の交流・支援事業

● 22	スタジオコンサート(3回) vol.104「横内奏マリンバリサイタル」 ／vol.105「Flamenco Jazz LIVE」／vol.106「北村聡 鈴木大介 デュオコンサート 情熱のアルゼンチンタンゴ」	自主	6月11日 7月30日 10月28日
23	くにたちすたじお寄席 49-51回	自主	6月5日、9月4日、3月5日

④創客、利用拡大事業

○ 24	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（計10回）	自主	4/20, 5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 1/18, 2/15, 3/15
○ 25	イブニング・コンサート（計2回）	自主	8月17日・12月21日
26	ホールとグランドピアノのシェアプログラム（計8回）	自主	5/9・10, 6/6・7, 8/3・4, 9/28・29

(ウ) その他

①自主事業、連携事業企画調査

27	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
28	その他事業（オアシス、助成、消火栓広告、くにたちポイント）	自主	通年

①実行委員会参画事業

○ 29	第46回 くにたち音楽祭	共催	6月19日
○ 30	第28回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月25日
○ 31	国立三中OB吹奏楽団 春風コンサート	共催	5月5日
32	ギャラリーネットワーク連携事業 ※コロナ禍で中止	共催	（予定）6月
○ 33	第10回 わくわくこどもフェスタ	共催	2月19日

○ こどもおすすめ事業

☆ 協賛事業

● 新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
東京音楽コンクール第1位、日本音楽コンクール第1位受賞者によるクラリネット奏者と、4人の弦楽奏者による五重奏。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的として開催しました。	一般2,000 学生1,000	267
現在各地で人気が高い落語家二人会を実施しました。	一般3,000 高校生以下1,000	147
今年で11回目、すたじお寄席出身のらく次師匠による落語講座を開催しました。リピーターも含めた参加者は事前に配布したテキストから好きな噺を選び、一人ひとり稽古を付けた後で発表しました。	参加800 見学500	参加15 見学24
こども寄席既参加者の希望があった中高生コースを新設しました。高校落語部の生徒等が参加し、指導した落語家も刺激を受ける会となりました。	参加800 見学500	参加4 見学9
毎年恒例となつたくにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサート。市内から多くの来場者が訪れる人気の演奏会となりました。	1,000	222
文化庁助成ARTS for the future! 2に採択された演奏家による企画事業。おそらく日本初の、ニュージーランド出身の作曲家ササス氏オール・プログラム。ピアノ、クラリネット、チェロ、打楽器6名による演奏会を開催しました。	小学生以上3,000 学生1,000 未就学児無料	62

音楽を身近に親しみやすく体験するコンサート。(104回) マリンバとピアノ (105回) フラメンコとジャズを融合、ジャズ界の第一線で活躍中の5人 (106回) ギター&バンドネオンによるタンゴの名曲 と多彩な音楽を気軽に聴ける機会の提供を行いました。	104 : 1,000 105, 106 : 2,000	52 50 55
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を披露し、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催しました。	1,500	38 55 55

入場無料、客席数制限(整理券発行)で公益事業として開催。公募で選ばれた出演者による実演(おもに音楽)を披露しました。	0	256
8月、12月に上記事業を夕方に移して開催しました。	0	97
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	2,000	71

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	—	—
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。施設見学の受け入れ、中学生の職業体験の受け入れはコロナ禍により実施しませんでした。	—	—

参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催。一般観客無し、13団体が参加で前・後半に分けて実施しました。	0	—
参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演。5団体が参加し、一般観客を入れての開催となりました。	0	542
ファミリーフェスティバルは中止となりましたが、国立三中OB吹奏楽団による毎年好評の吹奏楽コンサートのみ、鑑賞事前募集で開催しました。	0	246
市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業として美術講演会を開催する予定でしたが、コロナ禍により中止しました。	0	—
立川子ども劇場国立支部などが実行委員会を組織し子ども向けの様々な事業を行いました。	0	380

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 26,277,376 円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

①展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
1	くにたち郷土文化館常設展示	自 主	通 年
○ 2	ハケと生きもの展示	自 主	通 年
3	施設及び周辺環境整備事業	自 主	通 年

・企画展示

● 4	共催企画展 「第24回 紙の工芸展」 関連イベント 12回	共 催	5月21日～6月12日
● 5	秋季企画展 「歩いて集めて見て聞いてー消えゆく暮らし 記録せよ」	自 主	10月8日～11月23日
○ 6	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自 主	1月13日～3月13日

②資料収集・調査・研究事業

7	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自 主	通 年
8	地域資料の整理	自 主	通 年
9	収蔵資料の整理	自 主	通 年
10	資料のデジタル化事業	自 主	通 年
11	図書等の資料整理	自 主	通 年
12	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自 主	通 年
13	調査・研究等の書籍刊行事業	自 主	通 年

③講座事業（教育・普及事業）

● 14	自然講座「くにたちの地形と野みずの発生」	自 主	9月17日・9月18日
● 15	連続自然講座関連ミニパネル展示 「国立市の地形と雨天時の出水」	自 主	9月3日～10月23日
● 16	ガイドツアー	自 主	6/26、10/15、10/17、10/23、 10/31、2/16、3/28
● 17	矢川駅開業90周年記念パネル展示「谷保駅と矢川駅」	自 主	5月6日～5月22日
18	学習支援事業	自 主	7月25日～9月2日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 21,602
研究者の協力を得て、ハケ下の水路や府中用水の生きものを展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

市内で活動するサークルと共催で、紙を素材にして様々な創作品を紹介し、子どもから大人まで楽しめる体験事業を行いました。	ワーク ショップ 100・300	延 1,152(内 157) 有料
市民の力で行われた民具収集と聞き取り調査等の業績を明らかにすると共に、採集された民具と聞き取りから分かる、谷保の暮らしぶりを紹介しました。		延 2,096
昔の暮らしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。	—	延 5,828

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に関する資料の収集及び調査・研究及び資料の修復を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
館収蔵の紙資料や市役所広報担当移管写真等のデジタル化、情報入力 of 促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
中央図書館との検索システムをネットワーク化するためのデータベース作業等を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

くにたちの自然環境を座学とフィールドワークから学ぶ講演会を開催しました。	—	26
国立市の地形や排水環境整備前の市内での出水発生、国立市周辺排水路の建設について当館所蔵の写真資料を中心としたパネル展示をしました。	—	2,438
来館者に向けて展示解説や散策ガイドを行いました。	—	161
JR東日本主催のイベント「駅からハイキング」にあわせ鉄道ファンの利用が見込まれ、当館を利用しない層へ向けて国立の歴史を紹介する機会としました。		1,371
学芸員実習など学校教育の支援を行いました。	—	5

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
● 19	講演会 「村医者ノート術」 -幕末・明治の勉強法に学ぶ-	自 主	9月4日
● 20	講演会 「旧本田家住宅 その復元を探る -旧本田家住宅修理専門委員会の検討から-	自 主	11月12日
● 21	古文書に親しむ 古文書でみる府中用水Vol. 5 「多摩川の洪水とその後の対応」	自 主	2月11日
● 22	講演会 「本田家350年のお宝 -資料基礎調査報告-	自 主	12月10日
● 23	講演会 「旧本田家住宅解体復元工事の現場から Vol. 2」	自 主	10月15日
● 24	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自 主	3月12日

## イ. 市民が参加及び体験する事業

### ①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

○ 25	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
○ 26	小学生民具案内 (全11校)	自 主	1月13日～3月3日
○ 27	伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自 主	4月23日～5月8日
○ 28	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月25日～7月7日
○ 29	わら細工教室 わらぞうり作り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	8月7日
○ 30	古民家事業 十五夜だんご作り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	9月4日
○ 31	伝統文化体験事業 千支の折り紙教室「卯」	自 主	12月3日
○ 32	わら細工教室 正月飾りの製作 しめ縄飾り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	12月13日
○ 33	伝統行事 まゆ玉飾り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	1月8日
○ 34	伝統行事 節分・豆まき	自 主	2月3日
○ 35	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月17日～3月8日
○ 36	伝統行事 ひし餅作り	自 主	2月26日

### ②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 37	くにたち自然クラブ (全7回)	共 催	6月19日～12月11日
○ 38	天体観測 冬の星空ウォッチング (全3回)	自 主	12/2・1/28・2/25
○ 39	冬の生き物探し	共 催	1月29日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
医家であった本田家の資料から当時どのような学習過程を経て知識を吸収していたのか具体的な事例を紹介しました。		50
専門委員会の検討から旧本田家住宅の復元過程に関して情報提供できる場を設けその貴重性を改めて認識してもらいました。	—	30
府中用水に関する古文書を判読し、解説も加えることで古文書を読む楽しさや地域の歴史へと目を向けるきっかけとなるよう開催しました。	300	22
本田家旧蔵資料の整理・調査に携わった方を講師に迎え一般の市民や興味をもつ方へ史資料面の情報を発信する場として実施しました。		38
解体工事で確認された歴史的事象等について写真等で紹介し、工事現場で管理していた専門家からの解説を行い旧本田家住宅を理解してもらいました。		32
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	39

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 10,026
市内公私立小学校全11校3年生を対象に当館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしを体験してもらいました。	—	771
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 2,176
郷土文化館、古民家、城山さとのいえで短冊に願いを書き、笹竹につるす行為を通して、年中行事に対する親近感を醸成し、その理解を深めました。	—	延 680
例年、谷保の昔の暮らしぶりを知り、体験する事業として開催してきましたが、コロナ禍のため、参加者は募集せず、技術継承のみ実施しました。	—	14
農作物の収穫に感謝する伝統行事として行ってきました。コロナ感染防止のため、参加者を制限して体験しました。	300	11
和紙で2023年の干支である卯を制作することにより、折り紙という日本の伝統文化を体験しました。	1,000	16
コロナ禍以降における教室開催に向けて、技術の継承と指導者の育成としての実地研修の場として実施しました。	—	11
養蚕の豊作を祈願しおこなわれていたまゆ玉飾り作り体験を行いました。	300	16
豆をまき邪気を払い、福を招くことで、新しい一年に災いが無いようにと節分行事を体験しました。	—	80
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 2,653
ひし餅は桃の節句のお飾りとして、もち米からひしもちを作る過程を体験してもらいました	600	17

小学生を対象に生きものや自然の観察等様々な体験を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 98
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延 109
自然クラブ卒業生を対象としたジュニアリーダー育成講座で、動植物など自然の観察方法等を学びました。 NPO法人国立市動物調査会	100	26

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[市民総合体育館] (決算額 20,194,330 円)

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	やさしいヨガ ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	5月11日～6月29日 8月31日～10月19日 10月26日～12月21日 2月1日～3月22日
2	初めての気功と健康太極拳 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月 5日～5月31日 6月 7日～7月26日 9月 6日～10月25日 11月 1日～12月20日 1月10日～3月 7日
3	太極拳24式・48式 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月 5日～5月31日 6月 7日～7月26日 9月 6日～10月25日 11月 1日～12月20日 1月10日～3月 7日
4	水中リズムウォーキング ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月20日～6月15日 9月 7日～11月 2日 11月 9日～1月11日 2月 1日～3月22日
5	骨盤調整&エアロビクス ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月 9日～5月28日 6月18日～8月 6日 11月 5日～12月24日 1月21日～3月18日
6	楽しいフラダンス ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	4月21日～7月 7日 9月 1日～11月17日 12月 1日～3月 2日
7	インターバル速歩 12回	自 主	4月～3月の毎月 第一金曜日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月 5日～7月 1日
9	レベルアップゴルフ① レベルアップゴルフ② (12日間) ( 6日間)	自 主	9月 6日～12月 2日 2月 7日～3月24日

③親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
○ 10	親子体操教室 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)	自 主	5月 6日～7月 1日 9月 2日～11月 4日 1月13日～3月10日
○ 11	親子野球教室 ① (1日) ② (1日)	自 主	10月 29日 3月 4日
○ 12	親子スイミング教室 ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	5月 9日～6月13日 11月 7日～12月12日 2月 6日～3月13日

④小中学生スポーツ体験事業

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)	
事業内容及び説明			
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	664	
	5,000	644	
	5,000	645	
	5,000	657	
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取り入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	343	
	5,000	328	
	5,000	340	
	5,000	353	
	5,000	337	
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	389	
	5,000	388	
	5,000	411	
	5,000	422	
	5,000	416	
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	381	
	5,000	385	
	5,000	362	
	5,000	380	
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため③は中止しました。	5,000	289	
	5,000	265	
	5,000	0	
	5,000	248	
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	136	
	5,000	123	
	5,000	142	
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第1金曜日に申込不要の自由参加で開催しました。 ※雨のため9月、10月は中止しました。	無料	271	

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	437	
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。 ※雪のため2月10日は中止しました。	18,000	446	
	9,000	193	

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)	
事業内容及び説明			
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため④は中止しました。	5,000	0	
	5,000	84組	173
	5,000	159組	318
幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無 料	55組	110
		57組	114
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	94組	199
	4,000	95組	190
	4,000	92組	189

○	13	小中学生無料開放 (夏休み1回) (冬休み1回) (春休み1回)	自 主	7月27日 1月 6日 3月27日
○	14	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	4月30日～ 6月 4日 9月 3日～10月15日
○	15	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自 主	8月 2日～ 8月 4日
○	16	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自 主	8月 3日～ 8月 5日
○	17	小学生かけっこ教室 (8日間)	自 主	5月27日～ 7月15日
○	18	サッカークリニック (1日間)	自 主	1月 15日
○	19	小学生夏休み水泳教室	自 主	8月 1日～ 8月 5日 8月15日～ 8月19日

⑤共催事業

○	20	第30回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
	21	第32回くにたちウォーキング	共 催	10月10日
	22	第32回ダンスコレクション	実行委員会	2月 5日
	23	スポーツ講演会	共 催	2月14日
○	24	小学生初心者水泳教室 (高学年、低学年)	共 催	5月11日～ 6月 3日 6月10日～ 7月 8日

⑥協力事業

	25	体力テスト対策 一小 (1～6年生)	協 力	5月、6月
--	----	-----------------------	-----	-------

○こどもおすすめ事業

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。	無 料	195 76 138
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため①は中止しました。	2,000	0 99
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため中止しました。	1,000	0
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	1,000	38
小学生を対象にスポーツイベントを開催し、専門の指導員によりスポーツの楽しさを体験しました。	7,000	240
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施しました。	無 料	187
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催で行いました。	1,000	356 307

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。共催：国立市体育協会 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため中止しました。	無 料	0
今年はA：8.2km、S：12.2kmの2コースになりました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し商品を出しました。共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、(公社)国立市シルバー人材センター	大人 500 子供 200	387
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図るために開催しました。	指定1,000	231
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図りました。共催：国立市体育協会	無 料	140
泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しました。 共催：国立市	無 料	201 211

小学生を対象に全国で行われる体力テスト対策を行います。テストは屋内が5種目、屋外が3種目。※中止しました。	無 料	0
---	-----	---

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）  
 [総務課]（決算額 1,150,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	第8回国立まと火 （国立まと火実行委員会）	7月17日
2	くにたち映画祭2022 （くにたち映画祭2022実行委員会）	10月9日～12月10日
3	0歳からのオペラ「まほうのふえ」 （コロレ・ヴィータ・ローザ）	11月3日
4	第32回ダンスコレクション （第32回ダンスコレクション実行委員会）	2月5日
5	第46回塞の神どんど焼 （塞の神どんど焼き実行委員会）	1月9日
6	伐採された樹木に新たな命を！ （伐採された樹木に新たな命を！会）	2月12日～3月5日
7	大人のためのお話会500回開催に伴う記念誌発行 （くにたちお話の会）	4月20日

\*「春うらら国立・立川さくらウォーキング」は悪天候により参加者の安全を図るため中止しましたが、100,000円支出済であり、すでに広報費を支出していたことから50,000円を助成金としました。

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）  
 [総務課]（決算額 4,607,862 円）

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数 等(人)
国立市と児童交流を続けてきた北秋田郡合川町（現在北秋田市合川地区）で古くから行われてきた伝統行事の「まと火」を国立市の夏のイベントとして実施しました。残念ながら2年間はコロナ禍により中止していましたが、今年は規模を縮小して開催しました。	200,000	1,500
「まちじゅうが映画館」と題して、まちなかの施設や個人カフェ、ミニシアターにて2か月にわたって10作品を上映し、あわせてトークも実施しました。	100,000	1,045
子どもたちやオペラが初めての方にも分かりやすく地域の方々に手触り感のある公演を届けたい思いから、モーツァルト作曲の大人気オペラ「魔笛」を再解釈し、上演しました。	200,000	291
ダンスを通して文化・スポーツの諸活動の育成と豊かな発展を目的とした文化・レクリエーションのイベント「ダンスコレクション」を通じてふれあいの場づくり、青少年の健全育成、まちの賑わい創出と地域の活性化を図りました。	300,000	692
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、まゆ玉の製作・配布を取りやめ、あらかじめ集めた正月飾りを燃やして新型コロナウイルスの撲滅祈願をしました。規模を小さくし、密にならない程度の参加者となりましたが、地域の伝統行事を絶やすことなく事業を継続しました。	150,000	700
選定、伐採された樹木を加工して新たな命を生み出す作業をしました。太い松の木を削ってベンチを作ったり、市内で伐採された木の小枝を加工して太鼓のばちやネームプレート、スプーンの柄を作成しました。また、桜の小枝や樹皮を煮出して桜染めを行いました。	50,000	80
くにたちお話の会は市内で図書館を中心として児童館、学童保育所、保育園、幼稚園、小学校などで、子どもたちにお話を語る活動を実施しています。お話を広めるため、毎月一回大人のためのお話会を開催し、ここで500回を迎えることから記念誌を発行し、今後の活動につなげていきました。	100,000	75

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約43,000部、4ページ6回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠（8センチ×6センチ） 広告収入3社20枠（505,000円）	3,683,862	259,610
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	924,000	—

## (6) 総合評価

### (芸術小ホール)

- ・2019年度から始まった新型コロナウイルス拡大の影響は徐々に薄らいできたものの、催し物への来場者数はいまだコロナ前と同程度までには至っていません。また客席数および定員を100%に戻したのは3月10日以降で、今年度は回復途上の状況にあったといえます。
- ・「芸術環境創造事業」では、大学や市内の小中学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。事業ごとに出演者、関係者との協議を重ね、芸小ホールならではの事業企画に努めました。公演のほかアウトリーチ、講座、旧駅舎でのプロモーションなど市民参加を促進する手法を積極的に取り入れました。また市民一芸塾受講者の発表を無料クリスマスコンサート内で行うなど、各事業間の連携でより充実した内容を図りました。
- ・「芸術振興事業」では、市民参加者・スタッフらの力を結集し国立を描いた創作オペラ作品の世界初演、コロナ関連交付金の活用で市民の来場促進を狙った若手演奏家によるリサイタルやワークショップ、芸小ホール初の創作作品外部販売（文化庁巡回公演事業）など、積極的な事業展開に取り組みました。定番となったクラシック、落語等事業においては企画運営力をよりブラッシュアップさせることに尽力し、質の向上に努めました。
- ・その他、実行委員会参画事業ではコロナ禍からの立ち上がり注視しつつ、対策を講じながら可能な限り活動を従来規模に戻すために検討を重ね、文化芸術振興に取り組みました。
- ・施設・設備の老朽化がますます進み、運営の基盤である安全性担保への危機感にさらされています。対応負担の予測も困難となる一方ですが、施設利用状況を鑑み自主・貸館事業へ支障をきたさぬよう十分な注意と経験則、蓄積をもとに管理運営を進めていきます。
- ・設立からの35年を振り返ると、社会情勢や時代の変化に対応しながら市民とともに歩んできた蓄積が現在の事業に現れているといえます。周辺に多くの他市文化施設がある中、施設のコンパクトさと築いてきた市民や芸術家等との関係性を強みに、細やかさと大胆さを兼ね備えた芸小ホールならではの特徴ある事業展開を今後も行ってまいります。

### (郷土文化館)

- ・芸術性が世界的に評価されている折り紙やその他の様々な紙の工芸品を通して、日本の伝統文化を再認識してもらい、モノを創造する喜び、面白さ、不思議さなどを実感していただくため実施した紙の工芸展ですが、子どもワークショップ参加者の作品を展示することで、同展への参加意識を持ってもらえるようにしました。展示の観覧者数は、前回は上回る結果となりました。また、前回同様に、実行委員や出品者等のPR効果は、展示・ワークショップのいずれにおいても高いものがあつたと察することができました。実行委員会と協議しながら、次世代への継承という観点も含め、同展の今後の方向性を検討したいと考えております。
- ・秋季企画展ですが、長年、国立の民具調査に携わり、当館の事業にも貢献してきたく私たちの暮らしを記録する会の活動について振り返る機会となりました。今後も時宜にかなった企画展を継続していきたいと思っています。
- ・むかしのくらし展ですが、民具案内関連展示として実施しました。小学3年生の社会科の授業の内容に合わせている為、内容が例年似通ってしまう部分があるため、このコーナー展示により特色を出している。今年度は、「食の民具」をテーマに展示をおこなった。

今後も、コーナー展で変化を見せるとともに、ベースとなっている展示部分にかんしてもより、充実したものになるよう改善していきたいと考えております。

- ・市内小学校3年生を対象とした民具案内は、毎年、くにたちの暮らしを記録する会の皆さんにご協力をいただいておりますが、今回はコロナ禍ということで会の皆さんと小学生との質問タイムを対面ではなく、リモートを活用したり、内容を変更しましたが、全校来館して実施できたことは良かったと思っています。
- ・郷土文化館は、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」を踏まえ、今後においても資料収集・調査・研究事業、市民が参加・体験事業、及び様々な企画展示及び企画事業を進めていきたいと考えています。

#### (総合体育館)

- ・2022年度も新型コロナウイルス対策を行いながら運営を行いました。4月1日から4月26日まで及び7月11日から8月31日までは第一体育室、9月1日から10月31日までは第一・第二会議室、企画資料室、ベビールーム、11月1日から12月31日までは第二体育室全面、1月1日から3月31日までは第二体育室半面が新型コロナワクチン接種会場となったため、それぞれ利用を中止しました。
- ・第32回くにたちウォーキングですが毎年参加者から大変好評を得ている事業で、2022年度は10月10日の体育の日に行われ、「癒される川沿いの散歩道」をキャッチフレーズに2コースに分かれ、372人が参加し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上を図りました。
- ・スポーツ講演会は新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となりました。2022年度は2月14日にくにたち市民芸術小ホール開催し、元プロ野球選手のイチロー選手をはじめ数多くのプロスポーツ選手やオリンピック選手のメンタルトレーニングのほか、企業経営者・医者・学生向けの講演を全国で行っている、メンタルトレーナーの高畑好秀氏をお迎えし、スポーツの試合や受験に役立つメンタル力の高め方についてご講演をいただきました。当日は大変多くの方にお越しいただき、試合や受験に120%発揮する方法や子供の隠れた可能性の引き出し方・伸ばし方などをスポーツと教育の両面から実践的に話をいただき大変好評でした。
- ・新型コロナワクチン接種会場となっていた期間の体育室が利用できない期間は、国立市民のスポーツ・レクリエーション活動の代替場所として、また、利用者の健康増進・体力向上のため、NHK学園の体育館を2022年度は30団体がお借りしました。
- ・しょうがいしゃスポーツを推進・支援するため、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し連携を図りました。
- ・有料公園施設は、年末年始(12月29日から1月3日)にテニス、野球、サッカー場の無料開放を行っていますが、2022年度は流域下水道上部広場コートを新たに開放し、利用者の利便性向上、健康増進・体力向上を図りました。

#### (総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。オアシスへの広告掲載についてはコロナ禍の影響で減少してしまいましたが、掲載依頼等についても引き続き努力していきます。また、ホームページについては、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう改善を図っていきます。

## 2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入

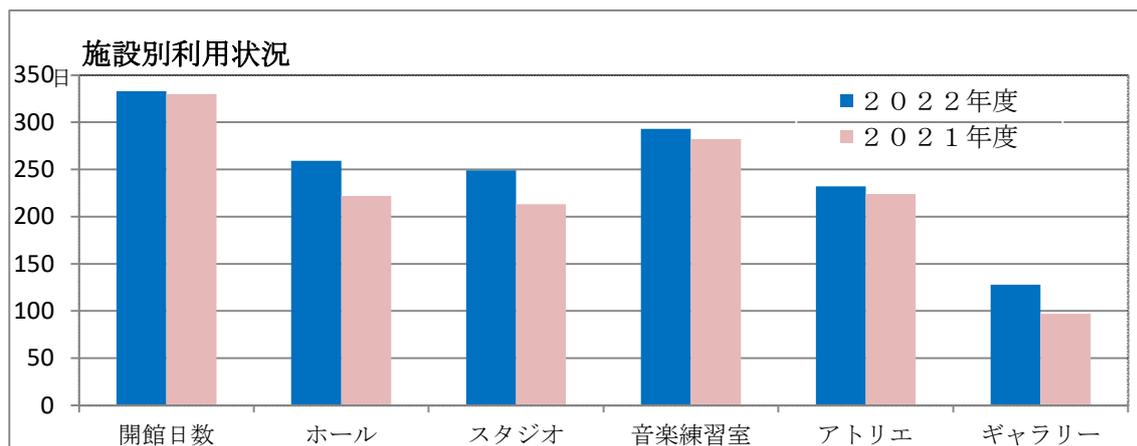
施設名	2022年度			2021年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	6,238,840	6,003,850	12,242,690	5,822,970	5,781,550	11,604,520	△638,170
スタジオ	795,570	1,589,800	2,385,370	1,268,970	601,900	1,870,870	△514,500
音楽練習室	1,524,600	168,900	1,693,500	1,284,170	136,400	1,420,570	△272,930
アトリエ	449,650	11,500	461,150	424,700	2,800	427,500	△33,650
ギャラリー	784,640	16,000	800,640	532,800	2,800	535,600	△265,040
合計	9,793,300	7,790,050	17,583,350	9,333,610	6,525,450	15,859,060	△1,724,290

・減免利用料

2022年度減免利用料額			2021年度減免利用料額			差引増(-)減額
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	
9,826,200	7,261,200	17,087,400				単位：円
8,278,300	5,601,200	13,879,500	1,547,900	1,660,000	3,207,900	

(イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	開館日数		利用者数
					市内	市外	
2022年度 開館日数 333日	ホール	259日	87.8%	296件	275件	21件	25,793人
	スタジオ	249	77.6	325	282	43	7,272
	音楽練習室	293	88.3	436	400	36	5,477
	アトリエ	232	70.3	287	278	9	2,635
	ギャラリー	128	42.2	128	116	12	6,731
	エントランス	32	9.6	32	32	0	915
	計			1,504	1,383	121	48,823
2021年度 開館日数 330日	ホール	222日	75.8%	254件	232件	22件	16,147人
	スタジオ	213	67.6	274	240	34	5,540
	音楽練習室	282	85.5	388	361	27	4,854
	アトリエ	224	68.7	265	264	1	1,928
	ギャラリー	97	29.8	97	95	2	2,804
	エントランス	30	9.1	30	30	0	803
	計			1,308	1,222	86	32,076



市民芸術小ホール利用状況

<2022年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2022年 4月	19	19	18	20	18	17	17	16	20	26	27	22	24	2
2022年 5月	16	17	13	17	14	9	20	16	18	14	10	6	12	1
2022年 6月	13	22	17	17	14	11	18	14	9	14	10	6	8	2
2022年 7月	17	21	19	17	18	15	22	18	14	15	10	6	1	2
2022年 8月	19	21	18	14	17	8	22	15	13	11	6	2	5	2
2022年 9月	21	23	21	17	18	8	24	13	14	15	9	7	7	3
2022年 10月	18	18	19	17	17	12	24	20	13	18	14	8	16	3
2022年 11月	20	22	20	23	21	16	23	24	19	16	13	8	16	3
2022年 12月	18	19	19	17	14	13	22	20	13	16	10	6	6	2
2023年 1月	17	15	15	17	12	11	22	18	14	13	6	2	6	3
2023年 2月	17	17	13	15	12	12	21	19	16	16	10	10	13	7
2023年 3月	19	20	17	22	22	14	20	17	12	23	11	10	14	2
合 計	214	234	209	213	197	146	255	210	175	197	136	93	128	32

展示会：4/1～7まで他の利用者の予約を可能な限り変更をお願いした。

コロナ対策 《定員》2023/3/13より定員を通常に戻す。同日よりホール・スタジオ：最前列も利用可とする。

電気設備工事の為休館：2023/1/24～26（休館日）

<2021年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2021年 4月	19	19	16	14	13	6	18	21	14	13	11	5	20	5
2021年 5月	13	16	21	10	12	7	14	13	11	12	7	2	9	2
2021年 6月	12	14	10	10	12	10	14	16	13	12	7	4	8	3
2021年 7月	10	13	8	13	11	7	11	8	11	10	8	4	3	3
2021年 8月	13	17	13	16	16	11	17	14	13	12	7	3	4	2
2021年 9月	15	14	13	9	9	7	15	15	15	15	12	5	3	2
2021年 10月	16	20	19	20	17	11	20	21	12	13	10	5	3	1
2021年 11月	15	15	16	12	13	13	22	19	16	15	8	2	7	2
2021年 12月	18	20	20	17	16	17	18	18	15	13	11	5	5	3
2022年 1月	14	13	15	13	14	12	16	13	15	17	10	5	4	2
2022年 2月	18	17	18	17	18	13	21	22	23	20	14	9	10	3
2022年 3月	18	17	16	14	15	18	20	21	23	20	18	16	21	2
合 計	181	195	185	165	166	132	206	201	181	172	123	65	97	30

コロナ対策 《定員》10/24まで定員50%/ 10/25～ ホール・スタジオ：最前列のみ不使用、

音楽練習室：50%、アトリエ：通常定員、ギャラリー：40名

《時間》～5/31 21時以降は控える／～10/24 催し物21時まで、練習20時まで

展示会： 12月10日時点で、3/12～3/31の期間空いている施設を封鎖。

## (2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

## (ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2022年度	1,061,800	98,500	1,160,300	1,176,300	29,500	1,205,800
2021年度	950,700	98,500	1,049,200	1,505,300	23,000	1,528,300
増(－)減	111,100	0	111,100	-329,000	6,500	-322,500

※2021年度、2022年度ともコロナの影響で施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用を継続

※2022年度は、企画展数の関係で減免の特別展示室利用減

## (イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数 (年間 335日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2022年度	168	32	200	195	22	217	121	9	130	0	0	0	484	63	547
	2021年度	133	29	162	184	21	205	100	7	107	0	0	0	417	57	474
研修室1	2022年度	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	2021年度	0	1	1	3	1	4	0	0	0	0	0	0	3	2	5
研修室2	2022年度	129	59	188	203	53	256	10	6	16	0	0	0	342	118	460
	2021年度	128	32	160	189	42	231	5	7	12	0	0	0	322	81	403
特別展示室	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	136	0	136	136
	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187	187	0	187	187
合 計	2022年度	297	91	388	399	75	474	131	15	146	0	136	136	827	317	1,144
	2021年度	261	62	323	376	64	440	105	14	119	0	187	187	742	327	1,069

※2021年度、2022年度ともコロナの影響で施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用を継続

※2022年度は、企画展数の関係で減免の特別展示室利用減

## (ウ) 付属設備利用状況

単位：件

年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計									
2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5	22	17	5	22
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	4	21	17	4	21

## (エ) 事業収入等状況

年 度	入館者 (人)			事業収入等 (円)					事業参加者 (人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
2022年度	21,602	10,026	31,628	0	141,800	520,000	23,530	685,330	389	19,577	19,966
2021年度	17,220	11,062	28,282	0	79,300	676,500	15,640	771,440	232	22,884	23,116
増(－)減	4,382	-1,036	3,346	0	62,500	-156,500	7,890	-86,110	157	-3,307	-3,150

※2021年度はJR東日本の「駅からハイキング」等、集客が期待できるイベントが一部中止

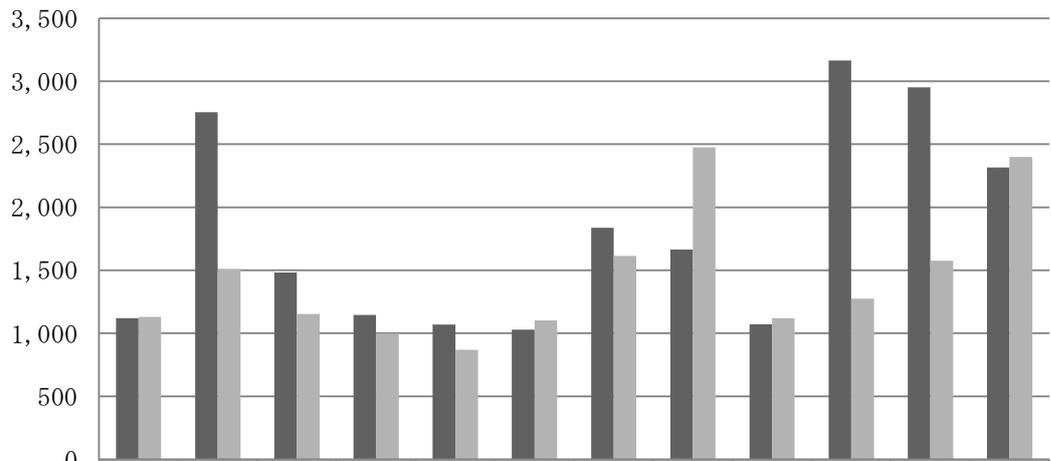
※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で大きく集客に寄与

※2021年度の無料事業参加者増は、旧国立駅舎でのイベントが大きく寄与

郷土文化館  
入館者数

単位：人

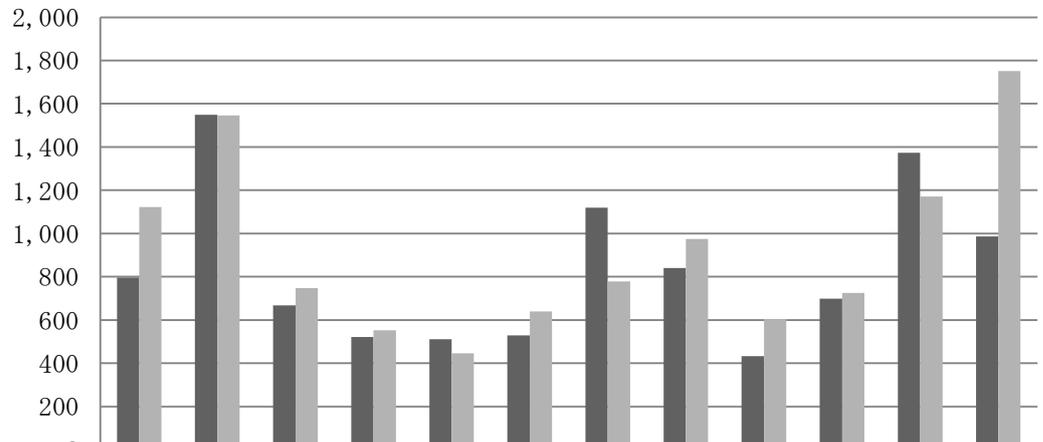


■ 2022年度開館日335日	21,602人	1,121	2,754	1,482	1,145	1,069	1,029	1,836	1,664	1,073	3,164	2,950	2,315
■ 2021年度開館日336日	17,220人	1,131	1,510	1,154	995	868	1,103	1,613	2,476	1,121	1,274	1,575	2,400

- ※2021年度はJR東日本の「駅からハイキング」等、集客が期待できるイベントが一部中止
- ※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与
- ※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で大きく集客に寄与

古民家  
入館者数

単位：人



■ 2022年度開館日335日	10,026人	796	1,549	668	521	512	529	1,120	840	433	698	1,373	987
■ 2021年度開館日336日	11,062人	1,123	1,546	748	553	447	639	779	975	605	725	1,171	1,751

- ※2021年度は3/27に行われた「春うらら桜ウォーキング」が大きく集客に寄与（716名）
- ※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与
- ※2022年度は最後に来て「春うらら桜ウォーキング」の悪天候での中止等で集客数が伸び悩み

## (3) 市民総合体育館の利用状況 (開館日数: 333日)

4/1～4/26及び7/11～8/31は第一体育室、9/1～10/31は第一・第二会議室、企画資料室、ベビールーム、  
11/1～12/31は第二体育室全面、1/1～3/31は第二体育室半面が新型コロナワクチン接種会場のため使用中止。

## ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2022年度	19,614,140	11,633,895	31,248,035	1,678,300	4,333,300	126,900	6,138,500
2021年度	16,281,200	13,560,271	29,841,471	2,102,900	3,500,550	90,100	5,693,550
増減	3,332,940	-1,926,376	1,406,564	-424,600	832,750	36,800	444,950

## イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2022年度	15,263	2,580	17,843	18,693	7,834	26	26,553
2021年度	10,826	2,553	13,379	17,287	6,219	44	23,550
増減	4,437	27	4,464	1,406	1,615	-18	3,003

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2022年度	20,006	14,448	405	34,859	53,962	24,862	431	79,255
2021年度	16,741	10,588	249	27,578	44,854	19,360	293	64,507
増減	3,265	3,860	156	7,281	9,108	5,502	138	14,748

## ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2022年度	2,194	39,188	542	11,711	375	5,585	15
2021年度	1,878	29,629	535	10,995	237	3,022	13
増減	316	9,559	7	716	138	2,563	2

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2022年度	3,126	56,484
2021年度	2,663	43,646
増減	463	12,838

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2022年度	137,088
2021年度	108,859
増(-)減	28,229

## エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
	430件	1,349人

## 駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
	17,976台	54.0台

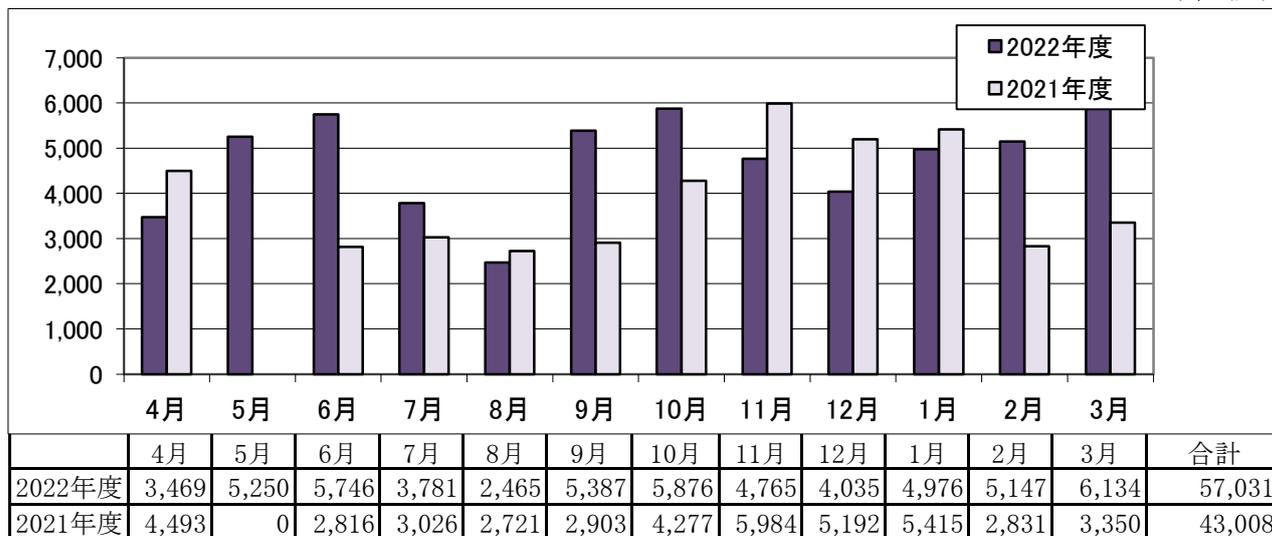
## オ くにたち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 206日)

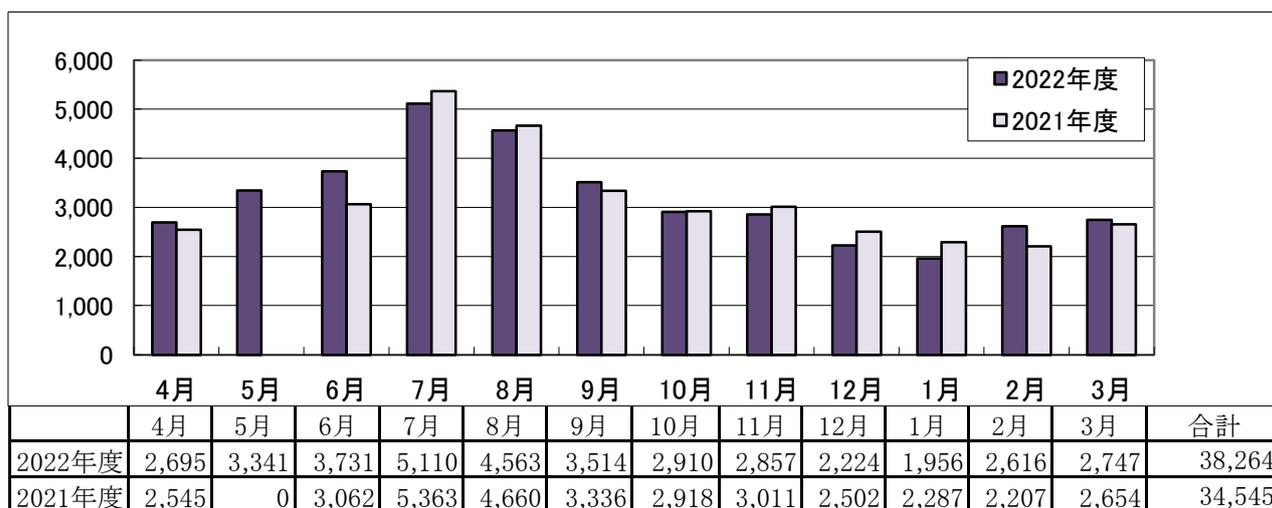
	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2022年度	798,450	407,700	1,200	59,700	468,600	1,636	2,718	4	199	4,557
2021年度	840,300	375,000	11,100	22,200	408,300	1,630	2,500	37	74	4,241
増減	-41,850	32,700	-9,900	37,500	60,300	6	218	-33	125	316

カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)

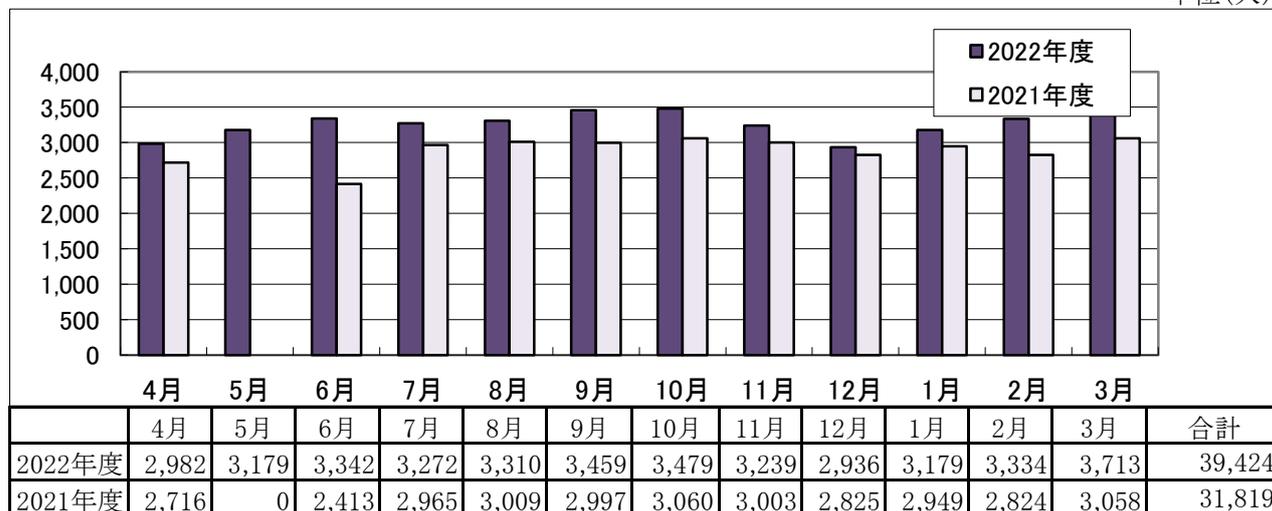


キ 室内プール月別利用状況



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2022年度	17,102,350	1,345,500	334,100	18,781,950
2021年度	19,118,050	1,533,025	425,750	21,076,825

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2022年度	463,800	2,643,875	578,500	3,686,175
2021年度	481,800	2,510,950	534,950	3,527,700

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2022年度	8,260	7,884	10,907	27,051
2021年度	8,853	8,381	12,424	29,658

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2022年度	76.91%	71.99%	63.42%	70.77%
2021年度	81.16%	76.50%	72.10%	76.59%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2022年度	2,240	3,335	1,456	7,031	1,730	8,761
2021年度	2,307	3,357	1,373	7,037	1,821	8,858

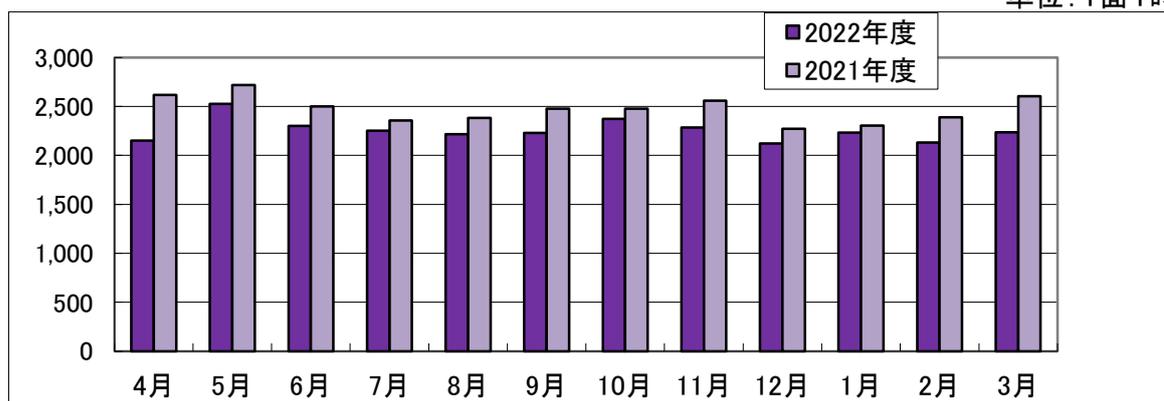
野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2022年度	65.79%	46.08%	50.03%	53.97%	47.46%	52.34%
2021年度	63.08%	47.07%	47.17%	52.44%	50.04%	51.84%

エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

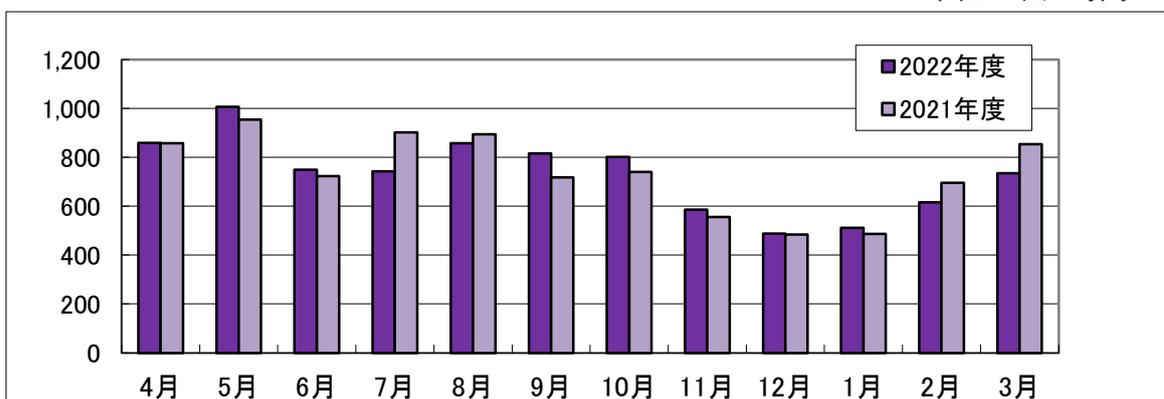
単位：1面1時



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	2,150	2,525	2,302	2,251	2,217	2,230	2,374	2,284	2,121	2,231	2,130	2,236	27,051
2021年度	2,618	2,719	2,499	2,357	2,383	2,477	2,477	2,559	2,272	2,303	2,390	2,604	29,658

オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	858	1,006	748	742	857	815	801	585	488	511	616	734	8,761
2021年度	857	954	723	902	893	717	740	555	483	486	695	853	8,858

### 3. 管 理

#### (1) 役員及び役員会等に関する事業

##### ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

##### (ア) 理事

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理 事 長	竹内光博	2021年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	池田良二	〃	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	金子一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	近藤佳子	〃	〃	国立の自然と文化を守る会副会長
〃	武田忠善	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	梶本祐幸	〃	〃	国立市教育委員会教育部長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長

##### (イ) 監事

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社会長

## (ウ)評議員

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	宇治康	2021年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	たましん地域文化財団常務理事
〃	尾崎良一	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	〃	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	山井佳代子	〃	〃	会社会長
〃	和田哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

## イ. 理事会等の開催

## (ア)理事会

## a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2022年5月16日	第1号議案 定時評議員会の招集(案) 第2号議案 2021年度事業報告(案) 第3号議案 2021年度決算(案)	可決 可決 可決
2022年10月14日	第4号議案 臨時評議員会の招集(案)	可決
2023年2月17日	第5号議案 臨時評議員会の招集(案) 第6号議案 2023年度事業計画書(案) 第7号議案 2023年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類(案)	可決 可決 可決

## b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2022年10月14日	協議事項① 2023年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2022年5月16日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2022年10月14日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2023年2月17日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 固有職員の退職手当の支給に関する規程の制定について 報告事項③ 固有職員の給与に関する規程の一部改正について 報告事項④ 給与に関する要綱の一部改正について 報告事項⑤ 人事評価に関する規程の一部改正について 報告事項⑥ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について 報告事項⑦ 処務規程の一部改正	

(イ)評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2022年5月31日	第1号議案 2021年度決算案	可決
2023年3月6日	第2号議案 2023年度事業計画案 第3号議案 2023年度収支予算案と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類案	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2022年10月28日	協議事項① 2023年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2022年5月31日	報告事項① 2021年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄附金等特定資産の運用状況について	
2022年10月28日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	

2023年3月6日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 固有職員の退職手当の支給に関する規程の制定について 報告事項③ 固有職員の給与に関する規程の一部改正について 報告事項④ 給与に関する要綱の一部改正について 報告事項⑤ 人事評価に関する規程の一部改正について 報告事項⑥ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について 報告事項⑦ 処務規程の一部改正	
-----------	---	--

※その他の報告事項は含みません。

(ウ) 監査

開催年月日	監査事項
2022年5月6日 決算監査	2021年度決算書 2021年度事業報告書
2022年10月28日 中間監査	2022年度収支決算書(上半期分) 2022年度事業報告書(上半期分)